

# SHIN CLUB 162

(株)辰 東京都渋谷区渋谷3-8-10 JS渋谷ビル5F

tel/03-3486-1570 fax/03-3486-1450



「上野毛の家」撮影：アーキプラス

## 今月のトーク/monthly talk

### 自然と暮らす

今月は、表紙の上野毛の瀟洒な斜面住宅と、表参道のおしゃれなアイスクリームケーキ専門店のご紹介です。

斜面住宅は緑豊かな環境の中、光や風の自然の恵みをふんだんに取り入れることができます。朝起きてから夜休むまで、視界に入ってくる美しい景色は、どれだけ住む人を和ませてくれることでしょう。さらに、この家には車庫の上部に水盤が設けられ、水のさざ波が涼しさや光の遊びを演出しています。海岸や湖畔など自然の水面を身近に見られる別荘にも憧れますが、都会の住宅でもこのように水辺を作り出すことにより、特に暑い夏などずいぶん過ごしやすくなるでしょう。

さて、一方で最近の自然の猛威には驚かされるのが少なくありません。「これまで経験したことのない大雨」という言葉が、この夏何度聞かれたことでしょう。加えて雷や突風にも「これまで経験したことのない」ほどみまわれることになりました。

8月12日、首都圏を襲った雷雨により、都内では1万3000世帯が停電、落雷を受けた電車が止まってタイヤが大幅に乱れたり、信号機が故障したりと、日ごろ忘れていた落雷の恐ろしさを改めて見せつけてくれました。ちょうどお盆休みに入ったその日、私が個人的に管理を手伝っている都心の古いマンションの入居者から、「自分の部屋だけ、停電している」という電話が入りました。東京電力に連絡して見てもらったところ「マンション全体の電源分電盤の一部のヒューズだけが飛んでいる」ということだったそうです。工事にちょっと詳しい方ならすぐにお判りでしょうが、いま

どきの分電盤はブレーカー方式で、過電流を遮断します。このマンションは、かなり築年数がたっているわけです。当該の部屋の室内分電盤にはブレーカーが設置されていましたが、そちらは落ちておらず、東京電力の人は、一番メインのヒューズから近いその部屋のヒューズが飛んだので、「雷のせいだろう」と言ったそうです。しかし東京電力は電気工事を行いません。至急、電気工事を行ってくれる専門業者を探さなくてはなりませんでしたが、さてその日はお盆の入り。日本全国、ほとんどの工事業者はお休みに入っています。しかも夜になっています。インターネットで検索して、やっと「24時間営業」と書いてある業者を見つけて連絡を取りました。翌日、昼過ぎに来てもらうことができましたが、入居者は高齢の方。夜はともかく、この暑い日中にエアコンなしでせまい室内で待ついただくわけにはいきません。午前中から復旧する夕方までは、図書館に避難していただきました。

ほかにも、当日「自宅のパソコンが過電流で壊れてしまった」という方の話を聞きました。停電も、最近ではめったに経験することがなくなった私たちですが、今やオフィスでも自宅でもパソコンなどの大事な電子機器が身の回りに増えています。今回は改めて落雷について、その被害を受けないようにするにはどうしたらいいのか、基本的なことを復習しようと、p4の「INFORMATION」でご紹介記事を作成しました。身の回りの対策、取れていますでしょうか。とりあえず私は、雷サージ対応コンセントを買いに家電量販店に行きました。





## 水盤と高台の景観を楽しむ斜面地住宅

都内とは思えないほど、豊かな緑に囲まれた敷地。住みたいと思っても、なかなか巡りあえない土地でもある。

既存建築物の解体工事からスタートしたプロジェクトだが、建物の図面と実際の建物の基礎が大きく食い違っていたことから、予想外の時間をとった。斜面地の設計を描く際は、既存の建物の基礎に合わせて、擁壁を壊さずに作ることを前提としている。壊してしまうと非常にコストがかかるからだ。もちろん構造的な検討を加えて、安全性を確保してのことである。しかし、建築はふたを開けてみないとわからないことが少なくない。今回もまさにそのような例だったが、施工側のねばり強い対応で乗り越えることができた。

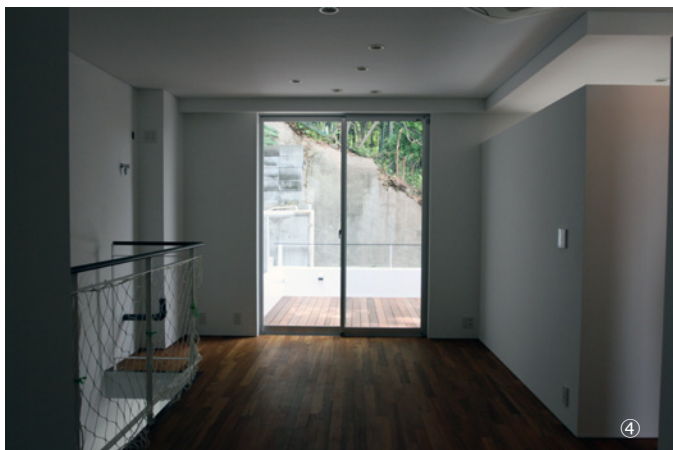
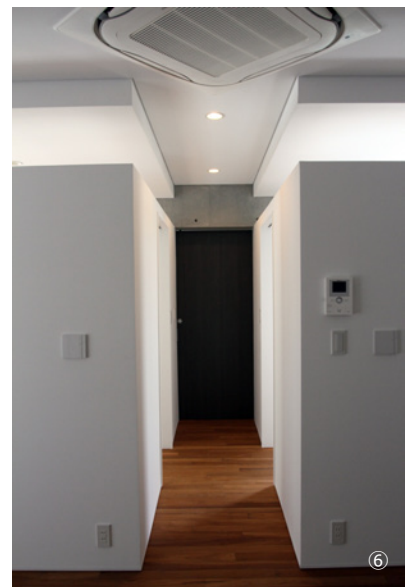
建物の構成は、地下1階のガレージと入口の部分、入口を上がった1階部分、最上階の2階の3層であるが、建物の構造をずらしながら、各フロアがそれぞれクロスするという設計手法を取った。

LDKを置いた1階は大きな開口部を設けて、眺望を活かした。ただしオープン過ぎては単純になるので、リビング側からダイニング側にかけてはスキップフロアにし、空間に変化を加えた。目線を変えることで、見える景色にも変化が出る。

2階は、プライベートスペースである。建物前面に張り出した個室は、水盤の上の庇も兼ねている。プライベートを重視してあえて前面に窓をあけていない。建て主は飛び出したボックスの中で浮遊しているかのような感覚を楽しまれることだろう。個室に行くファミリールームとの間に入れ子状の2つの部屋を追加した。上方にスリットを入れることで閉塞感を和らげ、フロアの一体感を維持している。またいろんな方向の景色を楽しめるように、竹の生えている南側擁壁の方向にもテラスを設けた。

2階の一番斜面側は、バスルームである。こちらスキップフロアで高くなっており、ガラス扉で洗面所と仕切った一つながりの空間としている。

(中村晃氏 談)



①1階水盤とテラス。水盤から反射する光が底の下にさまざまな表情を見せる②1階リビングよりダイニングを方向を臨む③水盤を通して、西側を臨む④2階プライベートスペースのファミリールーム⑤2階ファミリールームから続くテラス⑥2階の入れ子状の2つの部屋

所在地：世田谷区  
 構造：RC造  
 規模：地下1階、地上2階  
 用途：専用住宅  
 設計：中村晃 / アーキプラス  
 施工担当：竹原  
 竣工：2013.07  
 撮影：編集部



## 職人の工房で作られる、アントルメグラッセの専門店

表参道から少し入った住宅街に建つ、アントルメグラッセ（アイスクリームケーキ）の専門店である。欧米ではアイスクリームケーキを通年で楽しむのが普通だが、日本ではまだ専門店はほとんどなく、今回「GLACIEL」が新たな挑戦をこの「表参道」という地で行う。

フランスで修業した江森宏之シェフの「グラス（仏語でアイス）は水と砂糖と空気の結晶」という言葉にイメージを得て、アントルメグラッセの繊細で儂い美しさを引き立て、一方でシェフの職人としての心意気が展開していく、骨太な空間が必要だと感じた。

例えば、1階の厨房はフロア全体の半分を占める。アイスクリームという-30°の食材を扱い、隣の部屋では焼き菓子の製造も行う過酷な仕事場でもある。お客様に厨房の雰囲気を感じる、ほどよい高さののぞき窓を設け、職人の仕事ぶりを感じていただく。シェフは通路を挟んだショーケースに、出来立てのアントルメグラッセを運ぶ。それはまさにお客様と作り手を結び花道でもある。

外観はそんな工房を意識して、すべてが見通せるオープンなファサードとはせず、切妻屋根の白い壁に小さな小窓を設け、周囲の住宅にも違和感のない形とした。お客様は職人の工房を訪問するように、細い路地を通して中庭に入る。互い違いに配置された3棟の建物は屋外設備を隠し、アプローチに変化を与える。

1階は、新鮮な生グラスなどをお持ち帰りいただくコーナーで、2階にはゆっくりとその場で食べていただくカフェを用意している。質感のある壁や天井に対し、氷や砂糖の結晶が生み出す繊細な美しさや、グラスの素材となる果物や木の実の色彩を装飾表現に取り入れて、アントルメグラッセの味と造形を心ゆくまで楽しんでいただけるようにした。

(美和小織氏 談)



所在地：渋谷区  
 構造：S造  
 規模：地上2階  
 用途：店舗  
 設計：美和小織 / LITTLE  
 ディレクション：松本真二 / アカンブリッシュ  
 建築法規：河内崇 由利誠 / エイムデザインオフィス  
 施工担当：中川  
 竣工：2013.07  
 撮影：長谷川健太



①外観。切妻屋根の白い壁は、パッケージデザインにもその形が取り入れられた②2階カフェの中央のコーナー。白い壁と木の味わいが落ち着いた趣を醸し出す③2階カフェ東側コーナー。お誕生会や料理教室も想定して、家具の移動や奥の棚の開閉が可能な個室④中庭。右側に入口、中央にショーケース、左側の煉瓦の壁の向こうは工房⑤2階西側コーナー。切妻屋根の下に多角形の壁が生まれ、そこに谷口嘉氏のガラスのアートワークをアトランダムに散らし、涼しさと明るさを演出⑥⑦のガラスアートワーク。色は薄いパステルカラー⑧店舗正面の看板。ステンレス製でアイスクリームを食べるスプーンの形をしている



「落雷被害を避けるには」

最近、都心でも激しい雷雨にみまわれる機会が多くなりました。今月は落雷対策について、藤田設備設計事務所の藤田勝氏にアドバイスをいただきながら整理してみました。

■雷撃の種類（大きく分けて3つあります）

1. 直撃雷 雷放電による電流の大部分が、建物やもの、人を通過することで、人命を奪ったり、機械設備を破壊したり、火災を発生させるなど甚大な被害を起こす
2. 誘導雷 電源線・通信線・アンテナなどに、雷電流からの電磁誘導によって発生する高電圧で、機器の破壊を引き起こす
3. 逆流雷 建造物への雷撃時、接地抵抗が十分低くないと電源を供給している電源線および通信線へ雷電流の一部が逆電流として流出する

■対策

1. 直撃雷を避ける

- ・車や安全な建物に避難する
- ・近くに安全な空間がない場合、電柱、煙突、鉄塔、建築物などの高い物体のてっぺんを45度以上の角度で見上げる範囲で、その物体から4m以上離れたところ（保護範囲）に退避する（気象庁HPから）

直撃雷を避けるために建築基準法では高さ20m以上の建物には避雷針などの雷保護システムを設置することが義務付けられています。保護角60°以内（危険物設置箇所は45°）に建物が収まるように避雷針を建て、引き下げ動線、接地システムを組み合わせて安全に電流を大地に導きます。避雷針はむしろ誘雷針という方が正しいと言えます。（最近の高層ビルの設計には「回転球体法」を用いた対策が一般的です）

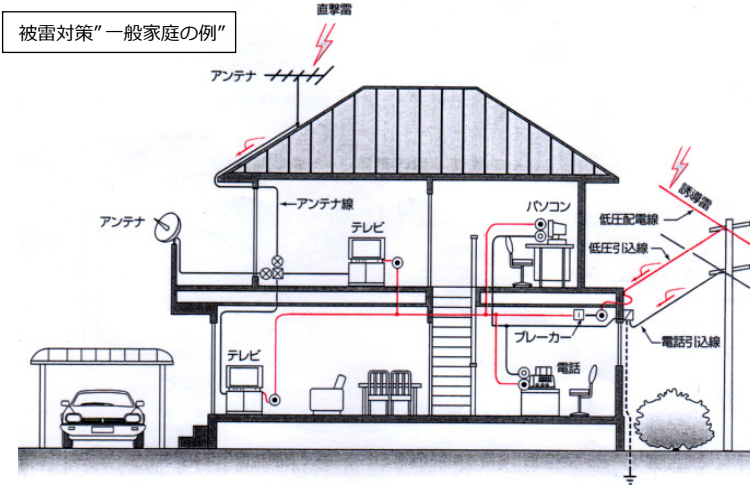
2. 誘導雷・逆流雷を避ける

- ・磁気を遮断する（電源を落とす）
  - ・SPD（サージ防護デバイス）を用いて電源設備や通信設備を保護する
- ※雷の巨大なエネルギーを受けて起きる異常電圧・電流を「雷サージ」と言います。

今やオフィスだけでなく一般家庭でもパソコンなどが生活必需品となっています。これらは、過電圧耐性が低く、電源、通信引き込み線を通じて侵入する誘導雷サージによって大きなダメージを受けます。SPDにより被害を未然に防ぐことができます。電源分電盤の回路に設置する避雷器や雷電リスクの高い電話回線を始め、セキュリティシステムやネットワークシステムなどそれぞれに適切なSPDが用意されています。これらは、電気工事の専門業者による工事が必要です。また雷サージ付コンセント、サンダーブロッカー（写真上）などと呼ばれるコンパクトな一般用の避雷器もあります。直撃雷には対応できないものもありますが、電源を落とさずにパソコンやファックスなどのオフィス機器、テレビ、ビデオを使用でき、家電量販店などで購入することができます。



雷はいつどこに落ちるかわからないものです。北関東など雷の多い地域、重要な品物が置いてある建物は準備が必要ですが、地震や防災などと同じように過剰なインシュアランスではなく、適切な対策を考えてバランスをとるといいでしょう。仕事場やご家庭の環境をもう一度、見直されてみてはいかがでしょうか。（参考資料：東京避雷針工業株式会社、株式会社昭電パンフレット）



「麻布十番Ⅱ コーポラティブハウス新築工事」  
安全祈願祭 7月7日（日）



麻布氷川神社で行われました。15世帯+店舗1のコーポラティブハウスです。麻布十番通りに面しています。

構造：RC造  
規模：地下1階、地上10階  
用途：共同住宅、店舗、長屋  
設計：インターデザインアソシエイツ  
完成予定：2014年10月

「(仮称) 目黒区洗足二丁目 (コトリク) 計画  
新築工事」 地鎮祭 7月31日（水）



設計者の平田氏は2012年第13回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展金獅子賞を受賞されています。

構造：WRC造  
規模：地上3階 ペントハウス  
用途：共同住宅  
設計：平田晃久建築設計事務所  
完成予定：2014年3月

「恵比寿南マンション新築工事」 竣工式  
8月29日（金）



建て主のアーバンビジョンの役員の方々と弊社代表取締役森村和男による、竣工を祝うテープカットが行われました。

構造：RC造  
規模：地下1階、地上3階  
用途：共同住宅  
設計：非公開  
竣工：2013年8月

「祐天寺の家 新築工事」 地鎮祭  
8月20日（火）



祐天寺駅からほど近い、閑静な住宅街に建つコンクリート打放し壁構造の住宅です。

構造：WRC造  
規模：地下1階、地上2階  
用途：専用住宅  
設計：AST建築計画研究所  
完成予定：2014年3月

編集後記

・災害時には、どんな工事の業者さんにも簡単に来てもらうわけにはいきません。日頃から身の周りのことには自分自身で注意を払っておきたいものです。加えてすぐに連絡がつくよう、近所の専門工事業者の方とも関係を作っておくことが大切だと感じました。